



2024年10月期 決算短信 (日本基準) (連結)

2024年12月11日

上場会社名 くら寿司株式会社

上場取引所 東

コード番号 2695 URL <https://www.kurasushi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役広報宣伝・IR本部長 (氏名) 岡本 浩之

TEL 072-493-6189

定時株主総会開催予定日 2025年1月29日

配当支払開始予定日

2025年1月30日

有価証券報告書提出予定日 2025年1月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年10月期の連結業績 (2023年11月1日～2024年10月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年10月期	234,950	11.1	5,699	132.0	6,224	115.9	3,226	273.7
2023年10月期	211,405	15.5	2,456	—	2,882	17.3	863	15.9

(注) 包括利益 2024年10月期 2,319百万円 (△24.3%) 2023年10月期 3,061百万円 (△27.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年10月期	81.18	81.11	5.8	4.6	2.4
2023年10月期	21.72	21.47	1.7	2.4	1.2

(参考) 持分法投資損益 2024年10月期 一百万円 2023年10月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	139,446	72,946	40.5	1,419.88
2023年10月期	130,119	70,566	41.6	1,363.33

(参考) 自己資本 2024年10月期 56,424百万円 2023年10月期 54,186百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年10月期	18,363	△10,346	△4,008	23,043
2023年10月期	13,727	△14,544	5,495	18,940

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年10月期	—	0.00	—	20.00	20.00	794	92.1	1.5
2024年10月期	—	0.00	—	40.00	40.00	1,589	49.3	2.9
2025年10月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		—	

(注) 2024年10月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 20円00銭 (万博記念配当)

詳細は、本日 (2024年12月11日) 公表いたしました「剰余金の配当 (期末配当および万博記念配当) に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2025年10月期の連結業績予想 (2024年11月 1日～2025年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	243,000	3.4	5,000	△12.3	5,200	△16.5	3,400	5.4	85.55

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)			
① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年10月期	41,399,600 株	2023年10月期 41,399,600 株
② 期末自己株式数	2024年10月期	1,660,997 株	2023年10月期 1,653,927 株
③ 期中平均株式数	2024年10月期	39,742,093 株	2023年10月期 39,744,914 株

(参考) 個別業績の概要

2024年10月期の個別業績 (2023年11月1日～2024年10月31日)

(1) 個別経営成績		(%表示は対前期増減率)							
	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
2024年10月期	174,273	6.2	5,967	637.5	6,569	375.5	3,735	—	
2023年10月期	164,108	9.5	809	—	1,381	18.7	300	87.6	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年10月期	94.00	—
2023年10月期	7.56	—

(2) 個別財政状態				
	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年10月期	72,478	45,890	63.3	1,154.81
2023年10月期	66,611	42,950	64.5	1,080.63

(参考) 自己資本 2024年10月期 45,890百万円 2023年10月期 42,950百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提条件その他関連する事項につきましてはP2「1. 経営成績等の概況 (1) 経営成績に関する分析 2 次期の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当連結会計年度（2023年11月1日から2024年10月31日）におけるわが国経済は、ウクライナ情勢の長期化に加え、中東情勢の緊迫化、不安定な為替変動などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。外食産業におきましても、物価高による外食控え、仕入れ価格や人件費の上昇等、厳しい環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、抗菌寿司カバーやお客様が入れ替わるごとに醤油差しなどの備品を入れ替えるクリーンテーブルなど安心・安全に関するさまざまな取り組みを行いながら、「ビックらポン！」や大手回転寿司チェーンの中で唯一、回転レーンでお寿司を提供しているエンターテインメント性を大切にし、回転寿司本来の手軽さと楽しさを追求してまいりました。

店舗開発につきましては、国内11店舗、米国14店舗、アジア5店舗の計30店舗を出店いたしました。この結果、当連結会計年度末の店舗数は、全て直営で677店舗（「無添蔵」4店舗、「くらおさかな市場」1店舗、米国64店舗、アジア61店舗を含む）となりました。

セグメント業績は次の通りであります。

① 日本

日本国内におきましては、当社の強みである「まぐろ」「かに」など質の高い商品を中心にしたフェアの展開、TV放送開始から25周年となる人気アニメ「ONE PIECE」など話題性の高いコンテンツとのコラボ企画の実施により、売上高は好調に推移いたしました。

また、当社の強みである現場力を生かし、経営と現場が一体となって、個々の商品ごとにきめ細かな商品設計を適宜行うことで、原価率の低減に努めました。タッチパネルの更新など次年度以降を見据えた戦略的な先行投資も実施いたしました。

この結果、売上高1,742億73百万円（前年同期比6.2%増）、経常利益65億69百万円（前年同期比375.5%増）となり、大幅な増収増益となりました。

② 北米

米国子会社 Kura Sushi USA, Inc. (KSU) におきましては、米国経済の減速で同国内の多くの外食企業が影響を受けている中、コラボ企画などを展開し売上高は回復傾向にあるものの、売上高、利益ともに軟調に推移いたしました。一方で、積極的な新規出店は継続的に実施し、ニューヨーク州スミスヘブンモール店など14店舗となりました。

この結果、売上高358億66百万円（前年同期比38.1%増）、経常損失10億41百万円（前年同期は経常利益2億47百万円）となりました。

③ アジア

台湾子会社 亞洲藏壽司股份有限公司 (KSA) におきましては、日本でも大変話題となった「ちいかわ」とのコラボ企画などによりお客様に大変ご好評をいただきました。また、沙鹿中山路店、頭份運動公園店など5店舗を新規出店いたしました。一方、組織強化のための投資に加え、人件費や光熱費の上昇による影響を受けました。

この結果、売上高251億26百万円（前年同期比16.5%増）、経常利益9億15百万円（前年同期比37.5%減）となりました。

なお、当連結会計年度において、日本・北米・アジアにつきましては減損損失を計上しております。

当社グループの保有する固定資産のうち、収益性の低下がみられた店舗について、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額いたしました。

日本におきましては、11億99百万円、北米におきましては、2億34百万円、アジアにおきましては3億14百万円の合計17億48百万円の減損損失を特別損失に計上しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、売上高2,349億50百万円（前年同期比11.1%増）、経常利益62億24百万円（前年同期比115.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は32億26百万円（前年同期比273.7%増）となり、大幅な増収増益となりました。

②次期の見通し

次期の業績の見通しにつきましては、売上高2,430億円（前連結会計年度比3.4%増）、経常利益52億円（同16.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益34億円（同5.4%増）を見込んでおります。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末における資産総額は、1,394億46百万円となり、前連結会計年度末と比較して93億27百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が41億3百万円、有形固定資産が49億78百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して69億46百万円増加し、664億99百万円となりました。これは、主に買掛金が10億85百万円、固定負債のリース債務が21億7百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、利益剰余金が24億31百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して23億80百万円増加し、729億46百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが183億63百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが103億46百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが40億8百万円の支出となりました。この結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）残高は、230億43百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度におきまして営業活動の結果得られた資金は183億63百万円（前年同期比33.8%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が43億39百万円となり、減価償却費が105億32百万円、減損損失が17億48百万円、仕入債務の増加額が11億15百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度におきまして投資活動の結果使用した資金は103億46百万円（前年同期比28.9%減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が102億86百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度におきまして財務活動の結果使用した資金は40億8百万円（前年同期は54億95百万円の収入）となりました。これは主にリース債務の返済による支出が37億25百万円、配当金の支払が7億96百万円あったこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年 10月期	2021年 10月期	2022年 10月期	2023年 10月期	2024年 10月期
自己資本比率	51.9%	48.7%	45.8%	41.6%	40.5%
時価ベースの自己資本比率	146.1%	147.2%	126.2%	109.7%	114.7%
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	1.7年	4.6年	2.9年	2.5年	2.0年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	82.4倍	29.3倍	44.6倍	50.3倍	50.0倍

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
2. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

①利益配分に関する基本方針

当社は、健全な財務体質の維持及び将来の事業展開等、事業に必要な投資に備えるための資金確保を考慮した上で、長期的に安定的かつ継続した企業価値向上を図り、株主の皆様に対して、安定した利益配当を継続していくことを基本方針としております。

内部留保における資金につきましては、業容の拡大に向けた財務体質の強化及び店舗の新設、その他の資金需要を賄う原資として活用してまいります。

②当期・次期の配当金

当事業年度の配当につきましては、当社普通株式1株につき40円（普通配当20円、万博記念配当20円）とする議案を2024年12月11日付で、会社法第370条及び当社定款に基づく取締役会の決議に替わる書面決議によって、決議いたしました。

また、次期の配当につきましては、1株当たり20円とさせていただく予定です。

加えて、当社は株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社の商品やサービスをより一層ご理解いただくことを目的として、期の中間におきまして、株主優待制度を実施しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の当社グループの海外進出状況や外国人株主比率の推移を勘案した上で、必要に応じて日本基準以外の会計基準の適用を検討してまいります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,940	23,043
売掛金	5,162	5,672
有価証券	1,248	—
原材料及び貯蔵品	2,522	3,016
その他	2,887	2,574
流動資産合計	30,761	34,307
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,836	69,082
減価償却累計額	△27,091	△30,319
建物及び構築物 (純額)	36,744	38,762
機械装置及び運搬具	8,543	8,849
減価償却累計額	△5,521	△6,169
機械装置及び運搬具 (純額)	3,021	2,679
土地	5,205	5,205
リース資産	11,485	10,885
減価償却累計額	△5,703	△6,402
リース資産 (純額)	5,781	4,483
使用権資産	31,625	36,771
減価償却累計額	△5,858	△8,012
使用権資産 (純額)	25,766	28,759
その他		
その他 (純額)	7,872	9,478
有形固定資産合計	84,392	89,370
無形固定資産		
リース資産	273	236
その他	1,298	1,337
無形固定資産合計	1,572	1,573
投資その他の資産		
長期貸付金	4,925	5,103
繰延税金資産	516	993
差入保証金	7,000	7,302
その他	950	796
投資その他の資産合計	13,393	14,195
固定資産合計	99,357	105,139
資産合計	130,119	139,446

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年10月31日)	当連結会計年度 (2024年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,065	8,150
短期借入金	927	1,130
リース債務	4,843	4,992
未払金	8,013	9,268
未払法人税等	1,099	1,949
その他	4,222	5,486
流動負債合計	26,171	30,978
固定負債		
リース債務	29,230	31,338
資産除去債務	2,968	3,218
その他	1,183	965
固定負債合計	33,382	35,521
負債合計	59,553	66,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,005	2,005
資本剰余金	10,900	10,900
利益剰余金	40,294	42,726
自己株式	△2,003	△2,003
株主資本合計	51,197	53,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	—
為替換算調整勘定	2,986	2,795
その他の包括利益累計額合計	2,989	2,795
新株予約権	1,354	1,932
非支配株主持分	15,024	14,589
純資産合計	70,566	72,946
負債純資産合計	130,119	139,446

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
売上高	211,405	234,950
売上原価	92,171	95,719
売上総利益	119,234	139,230
販売費及び一般管理費	116,777	133,531
営業利益	2,456	5,699
営業外収益		
受取利息	283	566
為替差益	70	22
受取手数料	179	188
その他	183	153
営業外収益合計	717	931
営業外費用		
支払利息	272	367
その他	18	39
営業外費用合計	291	406
経常利益	2,882	6,224
特別損失		
固定資産除却損	81	113
店舗契約解約損	—	23
減損損失	590	1,748
特別損失合計	672	1,885
税金等調整前当期純利益	2,210	4,339
法人税、住民税及び事業税	1,010	2,160
法人税等調整額	△184	△486
法人税等合計	825	1,674
当期純利益	1,385	2,664
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失 (△)	522	△561
親会社株主に帰属する当期純利益	863	3,226

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
当期純利益	1,385	2,664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△6
為替換算調整勘定	1,669	△339
その他の包括利益合計	1,676	△345
包括利益	3,061	2,319
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,658	3,033
非支配株主に係る包括利益	1,403	△714

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2022年11月 1 日 至 2023年10月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,005	7,814	40,265	△2,020	48,064
当期変動額					
剰余金の配当			△794		△794
親会社株主に帰属する当期純利益			863		863
自己株式の処分		27		17	44
連結子会社の増資による持分の増減		3,058			3,058
連結範囲の変動			△38		△38
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	3,086	29	17	3,132
当期末残高	2,005	10,900	40,294	△2,003	51,197

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	—	2,193	2,193	787	7,921	58,967
当期変動額						
剰余金の配当						△794
親会社株主に帰属する当期純利益						863
自己株式の処分						44
連結子会社の増資による持分の増減						3,058
連結範囲の変動						△38
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	2	792	795	567	7,103	8,465
当期変動額合計	2	792	795	567	7,103	11,598
当期末残高	2	2,986	2,989	1,354	15,024	70,566

当連結会計年度 (自 2023年11月 1 日 至 2024年10月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,005	10,900	40,294	△2,003	51,197
当期変動額					
剰余金の配当			△794		△794
親会社株主に帰属する当期純利益			3,226		3,226
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	2,431	△0	2,431
当期末残高	2,005	10,900	42,726	△2,003	53,628

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計			
当期首残高	2	2,986	2,989	1,354	15,024	70,566
当期変動額						
剰余金の配当						△794
親会社株主に帰属する当期純利益						3,226
自己株式の取得						△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△2	△190	△193	578	△435	△50
当期変動額合計	△2	△190	△193	578	△435	2,380
当期末残高	—	2,795	2,795	1,932	14,589	72,946

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年11月1日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月1日 至 2024年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,210	4,339
減価償却費	8,837	10,532
減損損失	590	1,748
受取利息	△283	△566
支払利息	272	367
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△91	△502
売上債権の増減額 (△は増加)	△499	△532
仕入債務の増減額 (△は減少)	408	1,115
未払消費税等の増減額 (△は減少)	662	187
その他	2,115	2,903
小計	14,223	19,592
利息の受取額	243	527
利息の支払額	△272	△367
法人税等の支払額	△465	△1,389
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,727	18,363
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,287	△527
有価証券の償還による収入	103	1,809
有形固定資産の取得による支出	△11,771	△10,286
無形固定資産の取得による支出	△543	△297
貸付けによる支出	△603	△621
差入保証金の差入による支出	△345	△351
差入保証金の回収による収入	98	48
その他	△195	△119
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,544	△10,346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	895	235
リース債務の返済による支出	△3,384	△3,725
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△793	△796
非支配株主への配当金の支払額	△105	△109
ストックオプションの行使による収入	311	388
連結子会社の増資による収入	8,572	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,495	△4,008
現金及び現金同等物に係る換算差額	858	94
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,537	4,103
現金及び現金同等物の期首残高	13,169	18,940
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	233	—
現金及び現金同等物の期末残高	18,940	23,043

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、飲食事業を営んでおり、国内においては当社が、北米及びアジアはそれぞれの現地法人が担当しております。

現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う商品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは飲食事業を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「北米」及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益又は損失は、経常利益又は経常損失ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度 (自 2022年11月 1 日 至 2023年10月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	163,861	25,975	21,567	211,405	—	211,405
セグメント間の内部 売上高又は振替高	246	—	—	246	△246	—
計	164,108	25,975	21,567	211,652	△246	211,405
セグメント利益	1,381	247	1,465	3,095	△212	2,882
セグメント資産	66,611	44,541	26,249	137,401	△7,282	130,119
その他の項目						
減価償却費	4,815	1,620	2,400	8,837	—	8,837
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	5,404	9,356	5,424	20,185	—	20,185

(注) 1. セグメント利益の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2023年11月 1 日 至 2024年10月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	173,957	35,866	25,126	234,950	—	234,950
セグメント間の内部 売上高又は振替高	316	—	—	316	△316	—
計	174,273	35,866	25,126	235,266	△316	234,950
セグメント利益又は損失 (△)	6,569	△1,041	915	6,443	△219	6,224
セグメント資産	72,478	47,570	27,481	147,529	△8,083	139,446
その他の項目						
減価償却費	4,710	2,476	3,345	10,532	—	10,532
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,485	10,386	4,282	18,154	—	18,154

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額及びセグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去等であり
ます。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1 四半期連結会計期間より、海外事業規模の拡大に伴いロイヤリティーの重要性が増していることを踏まえて、従来、個別財務諸表において「営業外収益」の区分に表示しておりましたロイヤリティー収入を「売上高」に含めております。これにより、前連結会計年度のセグメント情報についても組替後の数値を記載しております。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年11月 1 日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月 1 日 至 2024年10月31日)
1 株当たり純資産額	1,363.33円	1,419.88円
1 株当たり当期純利益	21.72円	81.18円
潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	21.47円	81.11円

(注) 1 株当たり当期純利益及び潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年11月 1 日 至 2023年10月31日)	当連結会計年度 (自 2023年11月 1 日 至 2024年10月31日)
(1) 1 株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	863	3,226
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	863	3,226
普通株式の期中平均株式数 (株)	39,744,914	39,742,093
(2) 潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	△9	△2
(うち、連結子会社の潜在株式による調整額) (百万 円)	(△9)	(△2)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当 り当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。